

【一般財団法人秋水美術館 展覧会事業報告書】

対象期間：第1期（2020/5/21～2021/5/20）

※2020年5月21日～7月21日の期間はコロナウィルス対応のため臨時休館

「館蔵名品選」

2020年7月22日（水）～2020年8月30日（日）

一般財団法人「秋水美術館」として、新たに開館を記念し、当館の収蔵品の中から名品を選び、展示いたしました。2階鑑賞室では刀剣の部と題し、日本刀や刀装具の優品をご紹介します。3階鑑賞室では絵画・工芸の部と題し、近代日本画壇を代表する作家たちの作品や、民芸作家の工芸、古陶磁などをご紹介します。

【会場】 一般財団法人 秋水美術館 2・3階鑑賞室

【主催】 一般財団法人 秋水美術館

【主な展示作品】

「大慈航観世音菩薩図」棟方志功、「雨餘」横山大観、「秋径懸瀑図」川合玉堂

「乾漆十二稜偏壺」黒田辰秋

「刀 銘 住東叡山忍岡邊長曾祢虎入道 寛文拾一年二月吉日」（重要文化財）等

「棟方志功展」 ～彼は、「日本のゴッホになる。」と言った。

2020年9月9日（水）～2020年10月30日（日）

日本を代表する木版画家である棟方志功は、戦前には民芸作家たちとの交流の中で仏教や古典文学等の知識を深めながら大成します。太平洋戦争が激化すると戦火を避け1945年4月に富山県福光町に疎開しました。6年8か月の間、富山で過ごした棟方志功は、富山を題材とする作品を数多く残しています。本展では、富山と縁の深い棟方志功作品を一堂に会し、棟方志功の画業を紹介いたしました。作品からあふれる慈愛の精神と生命力みなぎる描写が高い評価を博しました。

【会場】 一般財団法人 秋水美術館 3階鑑賞室

【主催】 一般財団法人 秋水美術館

【共催】 北日本新聞社

【主な展示作品】

「華狩頌」「赫々大聖不動明王尊之図」「柳緑花紅頌」「焼太刀砺波姫之図」 等

「黒田辰秋展」～世界に誇る、日本のウッドマイスター

2020年11月11日（水）～12月20日（日）

黒田辰秋は明治37年(1904)に京都の塗師屋の子として生まれ、十代半ばにして独学で漆芸の道を志します。河井寛次郎を通じて民藝運動と出会ったことをきっかけに、さらに独自の木工の世界を深めた黒田は、昭和45年(1970)に木工芸の分野で初めて重要無形文化財保持者（人間国宝）の認定を受けました。素地制作から塗り、加飾までを自身の手で制作するその姿勢は、工芸家であると同時に表現者としての信念であり、素晴らしい造形感覚と技術に裏打ちされた仕事は今なお高い評価を得ています。

本展では、力強さと穏やかさ、明快さと華やかさが共存する魅力的な黒田作品の数々をご紹介します。

【会 場】 一般財団法人 秋水美術館 3階鑑賞室

【主 催】 一般財団法人 秋水美術館

【共 催】 北日本新聞社

【主な展示作品】

「乾漆十二稜裡耀貝水指」「乾漆十二稜扁壺」「赤漆彫紋手付盆」

「耀貝螺鈿腰張茶器」「乾漆耀貝螺鈿卍唐草文香盒」「黒柿紙刀」 など

「新春 収蔵名品展」

2021年1月6日（水）～2020年3月28日（日）

一般財団法人「秋水美術館」は日本の中世から現代にかけての絵画や工芸を軸に収蔵・公開を行っておりますが、日本美術の持つ高い精神性と独自の魅力をご紹介しますことを目的として当館の収蔵品の中から特に優れた作品を選び、展示致しました。本展では売薬版画から身を起こした尾竹竹坡の代表作「太子」の修復完了後初となる公開を行うほかに、近代日本画壇を代表する作家たちの日本画作品や、古陶磁を中心とする工芸作品など多彩な作品を展示しました。

【会 場】 一般財団法人 秋水美術館 3階鑑賞室

【主 催】 一般財団法人 秋水美術館

【主な展示作品】

尾竹竹坡作「太子」六曲一双屏風、「芙蓉春色図」橋本関雪、色絵花鳥文大皿 など

「癒しの美 平山郁夫と現代日本画の巨匠たち」

2021年4月7日（水）～2021年6月27日（日）

「奈良薬師寺 薬師如来像」など貴重な平山郁夫の作品を中心に、現代日本画の巨匠たちの作品を展示いたしました。

仏教への関心や平和を祈る心を描き続けた平山郁夫、大胆な構図と色使いで独自の世界観を描き出した片岡球子、四季の自然風景を描いた国民的日本画家である東山魁夷など、現代日本画の巨匠が描き出した作品には日本人ならではの高い精神性に裏付けされた「癒しの美」が宿っています。多くの方に日本画の癒しの世界をご堪能頂きました。

【会場】 一般財団法人 秋水美術館 3階鑑賞室

【主催】 一般財団法人 秋水美術館

【共催】 北日本新聞社

【協力】 朝日印刷株式会社

【主な展示作品】

- ・平山郁夫作「薬師寺金堂薬師如来像」
- ・田淵俊夫作「薬師寺金堂日光菩薩像」
- ・田淵俊夫作「薬師寺金堂月光菩薩像」 など

◆展覧会別観覧者数

	会期	展覧会名	開館日数	入館者数
1	2020/07/22-08/30	収蔵名品展	30日	541名
2	2020/09/09-10/31	棟方志功展	39日	1,485名
3	2020/11/11-12/20	黒田辰秋展	30日	861名
4	2021/01/06-03/28	新春 収蔵名品展	59日	535名
5	2021/04/07-06/27	平山郁夫展	48日	1,279名
		合計	206日	4,701名

◆開催イベント

研師・要堺市郎氏による研磨実演 美術館2階鑑賞室前ロビーにて

開催日：2020/8/8,10/10,12/12, 2021/2/13,4/10 計5回

以上